

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	総合デザイン学科 ビジュアルデザインコース	夜・通信	2310 時間	240 時間	
	総合デザイン学科 CG デザインコース	夜・通信	2310 時間	240 時間	
	総合デザイン学科 インテリアデザインコース	夜・通信	2310 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<6a2c11a2a37ff29d26caf5c0458696f746ec9dfc.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://design.trident.ac.jp/datas/files/2025/06/27/784b7e54c5c6977bbd0703eff1127c0d719a82cd.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2025年6月26日～2027年度定時 評議員会終結時	組織運営体制へのチェ ック機能
非常勤	法人役員	2025年6月26日～2027年度定時 評議員会終結時	組織運営体制へのチェ ック機能
非常勤	弁護士	2025年6月26日～2027年度定時 評議員会終結時	組織運営体制へのチェ ック機能
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 講義計画書(シラバス)は、全学科とも、年度・学期ごとに全履修教科について作成している。シラバスには、科目名・担当講師・科目のねらい・教科書・教材・授業概要・到達目標【専門知識スキル・社会人基礎力】・備考【受講ルール・評価の観点・その他・評価項目(評価の方法)】・コマごとのテーマ・内容(詳細)・取得目標・ターゲット社会人基礎力・授業運営方法・持参物等・授業外学習・宿題・提出課題等・重要用語・キーワード(任意)などを記載している。シラバスは、所定の場所にファイル保管し閲覧できるようにしている。学生には、学生ポータルサイトから確認できるようになっている。またホームページ内の学校紹介・学校公開資料内にて閲覧可能。シラバスの利用方法は、各コース長・教務担当が授業構想の確認と授業の進捗状況に使用している。また、学生については、学習計画や各教科の意味・カリキュラム上の位置づけなどへの理解、持参物の確認に使用している。シラバスの公開時期は、各学期初めのオリエンテーション時より閲覧可能としている。	
授業計画書の公表方法	a5416ad32cfcf833298a6579aeb779275c229819.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学生成績評価に関しては、実技科目で課題作品はすべて期限内に提出することを原則とし、科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・課題作品により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し(科目により認(認定)と評価する場合もある)。F(不認定)は不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。評価については相対評価として、評価配分に関してはあらかじめ提示し、実施している。 単位認定に関しては、出席状況が良好・授業参加態度が良好・課題の提出・小テスト・期末試験の結果が基準に達しており、成績評価がA(優)・B(良)・C(可)のいずれかであることが認定条件である。 課題(小テスト)の評価に関しても課題ごとに課題評価表にて評価し、最終評価の際に元となる課題評価表も提出させている。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) G P A (Grade Point Average) の計算方法 計算式：(成績評価数値×科目単位数) の合計÷総単位数=GPA 成績評価値は「A・B・C・F」4段階で、それぞれ以下の数値で計算される。 (「認」は含まない) A=11、B=7、C=4、F=0 GPA の指標を設定し、本校ホームページ上の学校紹介・学校公開資料内に公表している。成績の分布資料も作成し把握している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	a2b320a625f3dd9ad3e79907c0d59c074204fd41.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) (1) 各年次において、進級・卒業必要単位数以上を取得しているものとする。 (2) 進級・卒業判定会議で承認されること。 (3) 在籍年次修了時に指定した検定試験いずれか1つに合格もしくは指定点数以上を修得していること。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://design.trident.ac.jp/datas/files/2023/03/07/1b27dae709a809001c91dc538c992b9e07897012.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	トライデントデザイン専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	3aeb870b887de6eb4d8c23e3aaa56d50c7b7b38c.pdf
収支計算書又は損益計算書	3aeb870b887de6eb4d8c23e3aaa56d50c7b7b38c.pdf
財産目録	3aeb870b887de6eb4d8c23e3aaa56d50c7b7b38c.pdf
事業報告書	3aeb870b887de6eb4d8c23e3aaa56d50c7b7b38c.pdf
監事による監査報告（書）	3aeb870b887de6eb4d8c23e3aaa56d50c7b7b38c.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	総合デザイン学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼間	単位時間 3000／単位	単位時間 600/単位	単位時間 2400/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位	
			単位時間 3000／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
300 人		221 人	7 人	8 人	22 人		30 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）デザイン全般を学び進路を決め、企業が求める人材教育とデザインを通じて社会に貢献できる人材を育成する。

カリキュラム構成の考え方は、1年次は「共通科目」としてデザイン全体の基礎科目を学修する。2年次、3年次で「基礎科目」「共通科目」「感性教育」「専門理論科目」「専門実技科目」の科目群を体系立ててカリキュラム構成し、コース・学年ごとに学修の効率性と進捗予定を考慮して配置している。「基礎造形」「共通科目」「感性教育」は、学年共通科目として中心的な基礎知識・技術を1年次にまとめ、卒業年次においては、それまでの成果を土台に実務に即した業界知識・技術修得が可能な設定としている。すなわち、共通科目の履修によって自覚されたデザイナーとしての個性・特長のいっそうの向上を意識した学修や、評価として客観的に認識された資質に重点を置いて指導することが可能なカリキュラム編成を志向している。また資格取得に関しては、「検定対策科目」を設置し、就職活動時までに必要とされる資格取得が可能となるようなカリキュラム設定を行い、進級・卒業規定に定め資格取得率向上にも取り組んでいる。

カリキュラム編成体制は、カリキュラム編成の統括的チェックの観点から、既存のカリキュラムについて、企業・団体からの意見をは反映し、授業設定や授業内容の改訂などを検討する教育課程編成委員会を年2回各コースについて開催している。その検討結果を受けて、各コース長を中心に、当該年度のカリキュラム編成を行っている。次にカリキュラム編成要綱に沿って授業担当講師による「講義計画書」について、学

科長・教務担当でカリキュラム目的との整合性と効率性を勘案しながら検討し、カリキュラム編成する体制としている。
成績評価の基準・方法
（概要）実技科目での課題作品は全て期限内に提出することを原則とし、試験結果、課題作品、その他の提出物、出席状況、受講態度などで総合的に評価。 評価は原則 A（優）、B（良）、C（可）、F（不可）の 4 段階とする。また、科目によっては、認（認定）と評価されることもある。 G P A（Grade Point Average）の計算方法 計算式：（成績評価数値×科目単位数）の合計÷総単位数＝GPA 成績評価値は「A・B・C・F」4 段階で、それぞれ以下の数値で計算される。 （「認」は含まない） A=11、B=7、C=4、F=0
卒業・進級の認定基準
（概要）進級・卒業の条件 (1) 各年次に置いて、進級・卒業必要単位数以上を取得していること。 (2) 進級・卒業判定会議で承認されること。 (3) 在籍年次修了時に指定した検定試験いずれか 1 つに合格もしくは指定点数以上を修得していること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタ府が希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の 2 つを柱に学習 PDCA を実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
99 人 (100%)	0 人 (0%)	88 人 (88.9%)	11 人 (11.1%)
（主な就職、業界等）（株）EMU design/イー・エム・デザイン（株）/駒田印刷（株）/（株）ジェイワークス/（株）NOYES/丸真（株）/（株）レンズアソシエイツ/（株）トーセ/（株）ニューロン・エイジ/（株）ライジングフォース/飛騨産業（株）/（株）アニバーサリーホーム/クラシスホーム（株）			
（就職指導内容）就職活動前年度に保護者と進路確認のための三者面談、就職対策授業、担任主催の就職研究の実施。キャリアセンターによる履歴書添削指導・面接練習の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））色彩検定、レタリング検定、ビジネス能力検定、福祉住環境コーディネーター検定、CG クリエイター検定、イラストレーター検定他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
267 人	24 人	8.99%
(中途退学の主な理由) 病気、進路変更、学校不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者会の実施、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング、カウンセリング勉強会の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
2023 年度入学 総合デザイン学科	200,000 円	730,000 円	370,000 円	
2024 年度入学 総合デザイン学科	200,000 円	730,000 円	370,000 円	
2025 年度入学 総合デザイン学科	200,000 円	780,000 円	370,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
特待生選抜制度、トライデント奨学生制度、トライデント同窓会奨学生制度、トライデント海外留学奨学生（スカラシップ留学）制度、河合塾グループ在籍者対象減免制度、家族入学者減免制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 校長直属の委員会として学校関係者評価委員会を設置し、「学校自己点検・評価報告書」および「授業科目等の概要」を中心に学校に対する外部評価を実施する。 年1回学校関係者評価委員会を実施し、情報共有を行い、指摘事項について、改善を行っている。 評価委員会の構成：委員の定数 4名以上、委員の選出区分 企業、卒業生		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ソーゴー	2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業
株式会社バウハウス丸栄	2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業
株式会社ニミリデザイン	2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	卒業生
株式会社クリーク・アンド・リバー社	2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	卒業生
建築設計アトリエハイジ	2026 年 3 月 31 日～ 2026 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「2024 年度学校関係者評価結果書」（「2025 年度学校関係者評価結果書」に関しては、8 月学校関係者評価委員会の開催のため 9 月末に公表予定）		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://design.trident.ac.jp/school/sight/>